



[平成21年度設置]

計画の区分：大学院研究科の課程変更

注1

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科（D）

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 青葉学園
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 ジムチョウ テラサワ ヒロシ
事務長 寺澤 博

電話番号 03-5421-7655

（夜間） 03-5421-7655

F A X 03-5421-3133

e-mail h-terasawa@thcu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

目 次

	ページ
1 調査対象大学院等の概要等	1
2 授業科目の概要	5
3 施設・設備の整備状況, 経費	7
4 既設大学等の状況	9
5 教員組織の状況	11
6 留意事項に対する履行状況等	15
7 全般的事項	17

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 青葉学園

(2) 大学名

東京医療保健大学大学院

(3) 大学の位置

〒141-8648

東京都品川区東五反田四丁目1番17号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	タムラ テツオ 田村 哲夫 (平成14年4月)		
学長	コバヤシ ヒロヨシ 小林 寛伊 (平成17年4月)		
研究科長	コバヤシ ヒロヨシ 小林 寛伊 (平成19年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	認可時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学研究科 医療保健学専攻 博士(感染制御学)	3年	4人	0人	12人	医療保健学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	(4) 4人	(4) 4人	1.25倍	
志願者数	(5) 5	(7) 7		
受験者数	(5) 5	(6) 6		
合格者数	(4) 4	(6) 6		
B 入学者数	(4) 4	(6) 6		
入学定員超過率 B/A	(1.00) 1.00	(1.50) 1.50		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度		備考
	平成21年度	平成22年度	
1年次	[-] 4	[-] 6	
2年次	/	[-] 4	
3年次	/	/	
計	[-] 4	[-] 10	

- (注) ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [-] 0	(累積)計 [-] 4	[-%] 0 %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 4人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [-] 0	(累積)計 [-] 10	[-%] 0 %
	うち平成19年度入学者 [-]	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 4人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 6人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下
 - ・学力不足
 - ・他の教育機関への入学・転学
 - ・海外留学
 - ・就職
 - ・学生個人の心身に関する事情
 - ・家庭の事情
 - ・除籍
 - ・その他
- ・ 「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

<医療保健学研究科 医療保健学専攻（博士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	特別講義	1前	2			7					
研究演習	特別研究Ⅰ	1後	2			13					
	特別研究Ⅱ	2通	4			13					
	特別研究Ⅲ	3前	2			13					

- (注)
- ・認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置認可時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後、審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目	科目	科目 4	科目 []	科目 []	科目 []	科目 []	

- (注)
- ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	<該当なし>					

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	<該当なし>					

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<該当なし>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

<該当なし>

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(五反田キャンパス)

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	貸与者エス・ケイ・ジー・サー ビス棟 H16.3.12からH38.8.31 まで 校舎敷地と別地（東西線行徳駅 徒歩10分） 大学院のみを記載 (22)					
	校舎敷地	0㎡(0㎡) 4,322㎡(4,322㎡)	0㎡(0㎡)	0㎡(0㎡)	0㎡(0㎡) 4,322㎡(4,322㎡)						
	市川運動場用地	0㎡(0㎡) 8,265㎡(—0㎡)	0㎡(0㎡)	0㎡(0㎡)	0㎡(0㎡) 8,265㎡(—0㎡)						
	小 計	0㎡(0㎡) 12,587㎡(4,322㎡)	0㎡(0㎡)	0㎡(0㎡)	0㎡(0㎡) 12,587㎡(4,322㎡)						
	そ の 他	0㎡(0㎡)	0㎡(0㎡)	0㎡(0㎡)	0㎡(0㎡)						
合 計	0㎡(0㎡) 12,587㎡(4,322㎡)	0㎡(0㎡)	0㎡(0㎡)	0㎡(0㎡) 12,587㎡(4,322㎡)							
(2) 校 舎	専 用	1,090㎡ 5,009㎡ (0㎡ +1,175㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	1,090㎡ 5,009㎡ (0㎡ +1,175㎡)	大学院のみを記載(22)					
	共 用										
(3) 教 室 等	講 義 室	1 6 8 室	演 習 室	19 6 0 室	実験実習室	0 3 4 室	情報処理学習施設	0室 (補助職員一人)	語学学習施設	0室 (補助職員一人)	教室等の整備・充実を 図った⑩ 大学院のみを記載(22)
	専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			大学院のみを記載(22)			
		医療保健学研究科 博士課程 一医療保健学部 看護学科			7 34 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学院：学術雑誌の 充実を図った⑩ 学術雑誌の充実を 図った(22) 機械・器具の充実を 図った(22) 五反田キャンパスの 図書・設備 図書10,647〔484〕冊 学術雑誌1,369〔68〕 種内、電子ジャー ナル1,104〔0〕 視聴覚資料736点 機械・器具3,482点 標本49点			
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル							
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点					
	医療保健学研究科	825〔325〕 (825〔325〕)	63〔33〕 -61〔31〕- -50〔20〕- (50〔20〕)	13〔13〕 -11〔11〕- -〔-〕- (-〔-〕)	20 (20)	86 -79- (79)	- (-)				
計	825〔325〕 (825〔325〕)	63〔33〕 -61〔31〕- -50〔20〕- (50〔20〕)	13〔13〕 -11〔11〕- -〔-〕- (-〔-〕)	20 (20)	86 -79- (79)	- (-)					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		〔大学・五反田附属図書館〕 閲覧座席数の充実を 図った(20)				
	255.67㎡		72 37		17,000冊						
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				〔大学・五反田体育館〕				
	659.84㎡		市川運動場								
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	図書の充実を図った(20)			
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	一千円	一千円				
	共 同 研 究 費 等	1,000千円	3,000千円	設備購入費	一千円	61,705千円	9,850千円	図書の充実を図った(20)			
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次				
		1,900千円	1,400千円	1,400千円	一千円	一千円	一千円				
学 生 納 付 金 以 外 の 維 持 方 法 の 概 要											

- (注) 1 認可時の計画を設置認可申請書の様式第2号(その1)に準じて作成してください。
2 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
3 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を備考欄に記入してください。
4 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を朱書きで見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(21)」を「備考」欄に朱書きしてください。
なお、昨年度の報告において朱書きで見え消しした部分については、黒字で記載してください。
5 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京医療保健大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
医療保健学研究科 医療保健学専攻 (修士課程)	2年	20人	—	40人	修士 (看護学) (感染制御学) (医療栄養学) (医療保健情報学)	1.17	平成19年度	五反田キャンパス 東京都品川区 東五反田四丁目 1番17号	
看護学研究科 看護学専攻 (修士課程)	2年	20人	—	40人	修士 (看護学)	1.05	平成22年度	国立病院機構キャンパス 東京都目黒区東が丘 二丁目5番23号	
大学の名称	東京医療保健大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
医療保健学部 看護学科	4年	100人	—	400人	学士 (看護学)	1.19	平成17年度	五反田キャンパス 東京都品川区東五反田 四丁目1番17号	
医療栄養学科	4年	100人	—	400人	学士 (栄養学)	1.09	平成17年度	世田谷キャンパス 東京都世田谷区世田谷 三丁目11番3号	
医療情報学科	4年	80人	—	320人	学士 (医療情報学)	0.90	平成17年度		
東が丘看護部 看護学科	4年	100人	—	400人	学士 (看護学)	1.04	平成22年度	国立病院機構キャンパス 東京都目黒区東が丘二 丁目5番23号	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医療保健学研究科 医療保健学専攻（博士課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	学長	小林 寛伊	平成21年4月	特別講義 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	豊田 元	平成21年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	野口 玉雄	平成21年4月	特別講義 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	下田 妙子	平成21年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	上田 伸男	平成21年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	大久保 憲	平成21年4月	特別講義 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	津村 宏	平成21年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	炭山 嘉伸	平成21年4月	特別講義 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	柴 孝也	平成21年4月	特別講義 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	藤井 昭	平成21年4月	特別講義 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	小島 和彦	平成21年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	品川 長夫	平成21年4月	特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						
専	教授	比江島 欣慎	平成21年4月	特別講義 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ						

(注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、就任年度に関わりなく、「認可時の計画」には、開設時現在の満年齢を、「変更状況」には、平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

また、「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
13	—	—	—	13	—							
(13)	(—)	(—)	(—)	(13)	(—)	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
		<該当なし>	

(注) ・ 設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<該当なし>

(注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認可時 (20年11月)</p>	<p>大学院博士課程として、教育研究環境を一層向上させるため、感染制御に必要な実験室等の施設設備の充実に努めること。</p> <p>実務経験のある社会人に対して、履修モデルを示すなど学位取得までのプロセスや研究の際に必要な研究倫理規程等を周知し、研究指導の充実を図るとともに、オフィスアワーやチューター制、奨学金など幅広い研究支援体制を整えること。</p>	<p>博士課程（感染制御）の教育研究環境を一層向上させるため、必要な実験室の整備については、現段階規模では微生物学的な実験などに関して、汚染拡散を起こさないという十分な安全性を考慮し、不十分な形で設置すべきではないと考え、病院、他大学等の専門研究施設に依頼して行うことを計画している。もちろん、近い将来、十分な予算を確保した上で、安全な実験室を設置することは、全員の大きな夢である。</p> <p>感染制御に必要な実験室の整備に関して、微生物学的な実験は他の専門研究施設に依頼する形を取っているが、本学で可能な実験においては主な機器として研究室内に以下を設置した。 インキュベーター（冷凍機付培養機器） エコライト（自動コロニーカウンター 微生物検査機器） 垂直気流型標準クリーンベンチ バイオハザードキャビネット 全自動卓上型高圧蒸気滅菌器 など 引き続き施設設備の充実に努めたい。</p> <p>履修モデルを示すなど、学位取得までのプロセス、研究倫理規程等は入学ガイダンスにおいて周知した。研究指導の充実を図るとともに、オフィスアワー、チューター制、奨学金などの研究支援体制については学内で検討中である。</p> <p>奨学金については研究意欲の向上を図ると共に研究能力のある人材の経済的負担を軽減することを目的に「THCU博士課程（感染制御学）スカラシップ」（原則看護師を対象とする）を制定した。</p>	
<p>(その他 意見)</p>	<p>当該研究科の教育研究を踏まえると、学位の名称については、博士（医療保健学）が妥当と考える。</p>		
<p>設置計画履行状況 調査時 (22年2月)</p>	<p>該当なし</p>		

設置計画履行状況 調査時 (年 月)			
---------------------------	--	--	--

- (注) 1 「認可時」欄には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度（丸数字）を付記してください。
- 2 「設置計画履行状況調査時」欄には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- 3 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- 4 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<医療保健学研究科 医療保健学専攻（博士課程）>

（1）設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<該当なし>	<該当なし>

- （注）・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教員の資質の維持向上を図るため、FD委員会（学長を委員長、学長補佐1名、各学科教員5名、大学経営会議室長、事務局長、企画部長、教務部長 計11名をもって構成）を設置している。

- ・ FD委員会規程（添付資料①）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成21年度における委員会の開催状況は次のとおり。

第1回 平成21年 7月15日（水） 委員11名全員出席。

第2回 平成21年10月14日（水） 同上。

第3回 平成21年10月28日（水） 同上。

c 委員会の審議事項等

- ・ 授業内容・方法の改善を図ること。
- ・ 教員個々人の教育力・研究力の維持向上を図ること。
- ・ 大学運営に対する意識の啓発や学生支援のあり方等に関する研修会等を実施し大学教員としての専門的な能力を高めること。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 教育力の向上等を図るための東京医療保健大学を語る会の実施。
- ・ 各学科における教員活動報告会の実施。

b 実施方法

- ・平成21年度においては、教職員(大学院担当教員、非常勤教員を含む)を対象として「東京医療保健大学を語る会」を実施した。
- ・語る会では、「教育力の向上を目指して」の大テーマのもと、「自ら学ぶ学習」、「学科を越えた交流・学習」及び「英語教育の充実」の各テーマについて、どのような工夫・改善を行っているか、3学科及び大学院担当教員から各1名(計4名)の教員が発表を行うとともに、課題等は何かなど多面的かつ多角的に議論・意見交換を行っており、各教員にとって授業内容・方法の改善に資するものとなった。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・平成21年度の「東京医療保健大学を語る会」(21.10.28(水)17:30~19:00)における教職員の参加状況。
参加者数66名、参加率53.2%(21.10.1現在専任教員(大学院兼任教員を含む)84名、専任職員40名 計124名 $66/124 \times 100 = 53.2\%$)。終了後のアンケート実施状況、41名から回答あり。
回収率62.1%($41/66 \times 100 = 62.1\%$)。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・「東京医療保健大学を語る会」における「教育力の向上を目指して」に関する議論・意見交換を踏まえ、各教員が授業内容・方法の改善充実を図ることとしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・本学学則第4条(注)に則り、本学全体の教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、自己点検・評価委員会(委員長は学長)を設置している。

(注)第4条 本学は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

- 2 本学に自己点検・評価を行うため、東京医療保健大学自己点検・評価委員会を独立した特別委員会として設置する。
- 3 自己点検・評価に関する事項は別に定める。

- ・自己点検・評価委員会においては、本学の建学の精神及び教育目標・教育目的を具現化するために、教育研究活動に必要な組織・制度と諸条件を整備し、その機能を十分発揮できるよう本学の教育研究に関する活動状況並びに組織、施設・設備、運営状況等について、自己点検・評価を実施するとともに、所要の改善を図ることとしている。

- ・本学においては、平成20年度に開学後初となる自己点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめ、ウェブサイトに公表したが、平成21年度においても自己点検・評価を実施し、公表を行っている。

- ・なお、平成23年度には、大学基準協会による大学評価(認証評価)を受審することとしているが、これにより教育研究水準の維持向上及び質の保証に努めるとともに社会に対する説明責任を果たすこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成21年11月 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書については、本学の大学経営会議及び理事会・評議員会において審議・承認を経た後、ウェブサイト上に公開するとともに、報告書の印刷物を文部科学省、私学事業団、大学基準協会等関係機関に配布している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成23年度に財団法人大学基準協会の認証評価を受審予定。

(注)・届出時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 6月 30日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.thcu.ac.jp>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

東京医療保健大学 FD 委員会規程

(設置)

第1条 東京医療保健大学の教職員の資質の維持向上を図るため、FD委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(任務)

第2条 委員会は、授業内容・方法の改善を図るとともに、教員個々人の教育力・研究力の維持向上を図る。さらに、大学運営に対する意識の啓発や学生支援のあり方等に関する研修会等を実施し大学教員としての専門的な能力を高めることを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 大学経営会議で任命する専任教員
- (2) 大学経営会議室長
- (3) 事務局長
- (4) 教務部長
- (5) 企画部長

(審議事項)

第4条 委員会は次の事項を審議立案する。

- (1) 授業内容・方法の改善
- (2) 研究推進体制の整備
- (3) 各種研修会、研究会の実施
- (4) 外部研究費の導入の推進
- (5) 職員研修会等の実施
- (6) その他FDに関する事項

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、大学経営会議にて任命する。

(事務)

第6条 委員会に関する事務は、企画部が行う。

附 則 この規程は、平成17年4月1日より施行する。
この規程は、平成18年2月15日より施行する。